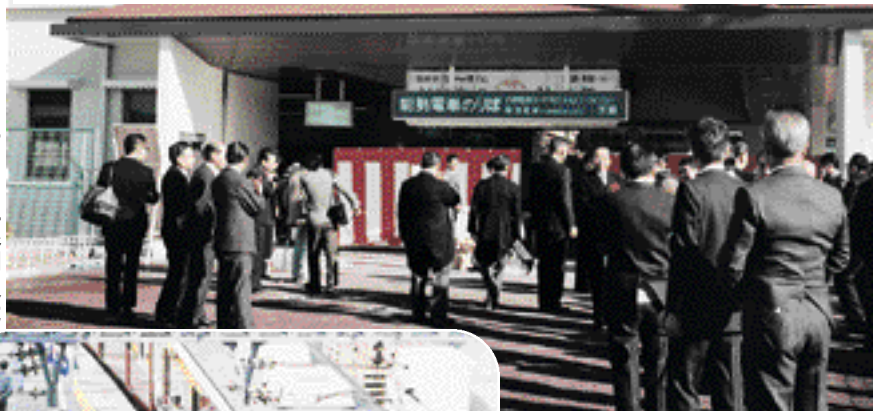


# 私達の町の玄関口

たくさんの人でにぎわう昭和53年の日生線開通式



鉄道ファンがカメラを手に駆け付けた平成9年の日生エクスプレス運行記念イベント

モダンなデザインの駅舎  
日生中央という駅名は、日生ニュータウンの中央に

勢電鉄の共同で建設され、昭和53年12月12日に開通しました。

# 能勢電鉄 日生中央駅



通勤・通学に多くの人利用している能勢電鉄 日生中央駅は、町内で唯一の鉄道駅です。能勢電鉄は、昨年5月に会社創立100周年を迎えました。そこで今回は、私達の町の玄関口である日生中央駅の歴史や最新の機能について能勢電鉄にお話をうかがいました。

## 能勢電鉄の誕生と 日生線の開通

能勢電鉄の前身「能勢電気軌道」は、妙見山への参拝者と能勢地方からの特産品の輸送を目的に明治41年に設立され、大正2年に川西能勢口から一の鳥居間の6.4kmで運転を始めました。

## 町の発展を後押し

日生ニュータウンの工事が始まった昭和45年、町の

美しさから、平成13年に「第2回近畿の駅百選」に認定され、改札口横の壁面に認定証が飾られています。

あるという意味で命名されました。2面のホームを持ち、改札口がホームより上にある構造の駅舎で、山小屋風のイメージを基調とした屋根にアクセントのある斬新なデザインです。この外観の

大都市圏中心部への交通の利便性が高まり、町の発展の契機となりました。町南部の宅地造成が活発になり、商業の発展などにより生活環境も向上し、昭和54年に1万人であった町の人口は、10年後の平成元年に2万人を突破、平成16年には3万人と、35年前の4倍になりました。都市計画道路の整備などによっ

## 日生中央駅前情報プラザ INAGAWA

日生中央駅の改札を出て右に行くと「日生中央駅前情報プラザ INAGAWA」があります。ここでは、町内の案内や特産品の販売をしています。



また、平日午前9時から午後4時まで電話予約をすると、住民票・印鑑証明書・所得証明書などを時間外で受け取ることができます。



時間外交付サービスの案内をする担当者

これは、役場の業務時間内に窓口に行くことができない人のためのサービスで、平日は午後5時45分から午後7時まで、また、土・日・祝日は午前11時から午後7時まで利用することができる、とても便利なサービスです。

【証明書の予約・問合せ】  
住民票・印鑑証明書などは、住民生活課(766-8700)  
税務証明は、税務課(766-8702)

人口は7032人でしたが、日生線の開通によって、乗客の総数は平成7年

で、ピークに減少しています

が、昨年11月の調査によると、日生中央駅の1日の乗

降人数は1万2千人で、川西能勢口駅に次いで乗降数の多い駅となっています。

## より便利で快適に

平成9年には、阪急梅田駅への直通特急「日生エクスプレス」の運行が始まり、日生中央駅は梅田駅と40分余りで直結されました。現在は、平日の朝夕方に各7本が運行され、多くの人が通勤・通学に利用しています。

また、駅の南側と北側の2カ所には、送迎専用のロータリーが設けられ、特に平日の朝夕には、多くの人が利用しています。駅からロータリーへの通路には屋根が設けられ、雨の日でも濡れずに歩けるようになっています。



日生線が開通して30年。それと平行して、猪名川町が発展してきたことを改めて感じました。現在、駅は無人数化されていますが、さまざまな安全システムで、すべての人が安心して利用できる駅となっています。これからも猪名川町の玄関口として発展してもらいたいですね。

【いながわ特派員】

## 日生中央駅 安全あれこれ

能勢電鉄では、平成3年に鉄道業界初の「駅務機器遠隔操作システム」を導入し、全駅で無人化を実施しています。

山下駅と平野駅にある遠隔操作センターで、券売機・改集札機などの駅務機器やエスカレーターなどの駅設備の集中監視と遠隔制御を行い、無人でも安全に利用できるように、さまざまなシステムを整備しています。

また、日生中央駅では、平成17年10月にはエレベーターや多機能トイレなどのバリアフリー化工事が完成しました。



AED (階段上)



非常通報ボタン (ホーム)



旅客乗降監視用モニター (ホーム)



エレベーター (2カ所)



車イス対応拡幅改札口

